

会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 21 年 4 月 21 日(火曜日)	開催時刻	15 時 00 分から 16 時 53 分
会議名	丸子地域協議会(平成 21 年度第 1 回)		
出席委員	浅倉委員、生田委員、大森委員、片桐委員、木下委員、甲田委員、笹井委員、滝沢(俊)委員、滝沢(浩)委員、武井委員、竹花委員、土屋委員、成澤(啓)委員、成澤(み)委員、本間委員、宮坂委員、村松委員、柳原委員 【欠席】倉沢委員、笹沢委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、佐藤センター次長兼地域振興課長、関尾市民生活課長、下村健康福祉課長、斎藤産業観光課長、佐藤建設課長、小林消防課長、清水学校教育課長、竹内社会教育課長、金井丸子学校給食センター所長、松村丸子上下水道課長、大平地域政策担当係長、中村地域政策担当、内木		

会議次第

1 開会(佐藤センター次長)

- ・ 委員の変更 内村自治会連合会 櫻井誠委員から滝沢浩さんに変更。
丸子地域連合 PTA 滝沢真由美委員から大森益子さんに変更。
- ・ 人事通知書の交付。(関自治センター長)
- ・ 新委員あいさつ
- ・ 事務局の紹介。

2 あいさつ

- ・ 関センター長あいさつ

平成 21 年 4 月から丸子地域自治センター長に着任した関義継です。合併前は丸子町の職員で、合併して 3 年間、市役所収納管理課で税金の滞納整理をやっていました。3 年間丸子から離れていて丸子の様子に疎くなっていることもあります。よろしくお願いします。出身は長瀬で、昭和 50 年に役場に入りました。平成 21 年度の始まりにあたり、市長がよく申しております、合併して 3 年間の赤ちゃんの揺り籠・揺籃期が終わって、いよいよ成長発展期、赤ちゃんから子どもになって、それから成人していく年にあたると思っています。その中で地域協議会の果たす役割は非常に大きいと思います。センター長という立場で、皆さんに大変お世話になりますけれど、よろしくお願いします。

- ・ 片桐会長あいさつ

先月は「わがまち魅力アップ応援事業のプレゼンテーション選考審査」を大変長い時間審査していただき感謝を申し上げます。その後、上田市全体応募に対するプレゼンテーション選考に正副会長で出席し 10 事業中 4 事業が不採択となりました。本年度のプレゼンテーション選考では、各 9 地域の協議会で大変慎重に審議をしていただいたということですが、地域によっては審査が甘かったかなという反省も聞かれました。また、何でも通してもらえないのではないかと応募される方も多かったようですし、果たして協議会がこの

審査の役割を果たしていくのが適当なのかどうか、今後の課題ではないかと考えています。新年度になり関センター長を迎え、この地域が発展するよう、私ども協議会が協力しあって頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

3 報告事項

(1) 平成 21 年度当初予算における主な施策（丸子地域）について（各担当課長等）

資料により、平成 21 年度当初予算における主な施策について、丸子地域の主な事業及び丸子地域に広がる事業等について説明。

資料：平成 21 年度当初予算における主な施策（丸子地域の主な事業）

(2) 平成 21 年度わがまち魅力アップ応援事業の選考結果について（事務局）

平成 21 年度わがまち魅力アップ応援事業採択状況について説明。

- ・ 上田市全体で、平成 20 年度からの継続事業 45 事業も含め合計 106 件の申請に対し、地域住民の皆様の協働事業として 93 件の提案事業が採択された。

この内丸子地域は、先月 3 月 13 日にプレゼンテーション選考をさせていただいたとおり、23 件申請中、18 件採択された。補助金額については、全体事業計画、全体事業費の中で、一部、翌年度以降に事業を先送りし事業費全体の平準化をいただいた事業もある。

現在、採択事業について事業費を内示し、交付申請書の提出をさせていただいている段階。今後、交付決定をした後、事業着手をしていただくようになる。

資料：わがまち魅力アップ応援事業採択状況一覧表

(3) 地元施行交付金の廃止について（建設課）

・ 要綱制定の目的及び内容

平成 16 年度旧丸子町において、「区が地域の実情に即した創意と工夫により生活道路等の環境整備を図るため、予算の範囲内で交付金を交付し、もって住民との協働による地域づくりの推進を図ること。」を目的として制定された。具体的には、当時の町道認定されていない認定外道路といわれる道路（いわゆる赤線）の舗装・修繕や、比較的小規模の排水路（いわゆる青線）の整備・補修等の経費について、1 件 20 万円を上限として自治会からの協議申請に基づいて交付してきた。

・ 新市合併時の調整方針

この交付金制度は旧丸子町のみが実施していたこと、要綱の制定が平成 16 年と制定が間もなかったことから、新市の合併の調整方針として、「合併時は現行どおりとし、3 年以内に調整を図る」とした。これを受け、庁内の担当部局で検討した結果が次の項目。

・ 制度の検証（優れた点及び問題点）

良い点：①自治会発注形式をとっているため、工事の早期発注が可能。

市発注工事より多少安価に工事ができる。

②発注に係わる職員の事務軽減が図られる。

問題点：①自治会発注であるがゆえに、施工された構造物について瑕疵（施工時に発見されなかった欠陥）についての保証とか、工事中の作業員、第三者の事故等の責任の所在が不明確である。

②旧丸子町当時、赤線、青線は国有地であったため、その整備は地元区に委ねられていた。それを支援する為の手段として制定したが、合併直前に、その国有地が、各市町村に移管された関係で、市有地に対する管理者としての対応が可能になった。丸子地域以外では赤線・青線についての対応は道路管理担当の土木サイドで対応してきた。

・制度の廃止及び今後の取扱いについて

担当課で検討した結果、「交付金制度の施工については、新市における現行制度において対処することが可能であり、併せて、目的が達成できることから、平成 20 年度をもって廃止する」とした。今後、丸子地域においては、道水路を管理する担当課で事業を実施していくが、予算等については地元要望箇所を整備する単独予算で対応する。引き続きコストの軽減をはかりながら、市において整備を実施してゆく。また、地元が実施する道普請等に対する原材料支給の制度は上田市全地域で実施しており、引き続き実施していく。

資料：新市の移行に伴い暫定施行となっていた「丸子町地元施工工事交付金要綱」の廃止について（報告）

主な質疑内容

（委員）自治会にすればいい制度だと思っていた。合併後 3 年以内での廃止はやむをえないが、「新市における制度において対処することが可能」についてもう少し詳しく教えていただきたい。

（建設課）今まで地元の皆さんが直接手を下してきたものを、今後は、行政側でやっていきたいということ。

（委員）この制度は、突発的な緊急性のある工事に対応してきた。今後は、目論見（自治会から市に対する道路補修等の要望）で対応ということになると、事件が発生して今まで半月、1 か月で解決できていたものが、最悪 1 年か 1 年半向こうへ行ってしまう。予算がないからということでも 20 万円の予算が本当に使えるのか疑問。優先順位で先送りにされる可能性が十分ある。そういうことのないようにしていただきたい。4 月 28 日の自治会長連絡会でも申し上げるが、そのときに課長からはっきりとお答えいただきたい。

（産業観光課）緊急的に必要なものについては、原材料支給があるので、今でも出来る予算計上になっている。

（委員）欠陥等責任の所在が不明ということだが、ちゃんと業者が施工すれば不具合とかはないのでは。

（建設課）行政が発注した工事は、施工計画書や工程表でいつ何をするのか担当者がすべて

把握し、現地も確認している。担当者が確認できない部分については、工事写真で確認する。それに変わることを自治会の皆さんにやっていただくことは、なかなか難しい状況がある。1年経過して不具合が生じ、責任の所在が曖昧で手直し工事ができなかったことが今までの事例の中にある。

4 調査研究事項

1年間、地域協議会の活動をしてきた委員の皆さんから出された反省点、課題について

●地元施工工事の情報公開について（丸子地域協議会の課題・反省点）

工事を行ったときの廃材を有効に活用したらどうか。

（産業観光課）平成20年度に痛んでいないU字溝がまとまって出たので有効活用したが、U字溝が工事に伴って廃材になる場合には、相当年数が経過し老朽化していて、まともに使えるものがなかなかでない状況。使えるものが出た場合は、地元の中で有効活用をいただいている。その場合、物だけもらって使わなかった場合に処分する責任も出てくるので、確実に使える場合は有効活用していただく。使えるものについては極力有効活用していきたい。

●わがまち魅力アップ応援事業について

意見で一番多かった「わがまち魅力アップ応援事業」について意見交換。

（委員）この資料は今日配布されたので、次回もう一回この場で議論していただきたい。

（委員）今回、わがまち魅力アップ応援事業についての意見を出されていない人の意見も出していただいた上で話したほうがいいのではないか。

（会長）今回、協議会で不採択したことで、協議会が恨まれるのではという不安があり、今後の大きな課題。また、同じような事業で、他地域協議会は採択したが丸子地域協議会では不採択にしたということで今後の難しい課題と感じている。今年度多かったのは、何でも申請すればそれで決まりだという傾向が見受けられた。

（委員）東信ジャーナルでわがまち魅力アップ応援事業で採択された事業が何回か紹介された。丸子では不採択だったが、それと似たようなものが採択されて大きく活動していることが掲載されていたが、そういう点も大きな課題。地域的にも格差があって、判定の基準にもバラつきがあった。

（委員）考え方のベースは全市的に普及させる必要があると思うが、地域によって考え方に差があるので、全地域が同じ基準にしなきゃいけないわけではない。平準化しながら特色を認め合っていくことも必要。

（会長）上田市全体では趣味の延長みたいなものが多いという印象。丸子にはあまりない。例えばスポーツの大会で、バスケットの「スリーオンスリー」という事業。次回、意見としてまとめて、市へ要望できるものかどうかやっていきたい。

（事務局）わがまち魅力アップ応援事業についても、他の地域の採択事業の考え方も交えながら議論いただければと思う。紙ベースで意見を出していただきたい。

●その他の調査研究事項について

- ・平成20年度に出されたテーマの確認。

「地域全体の発展策・地域予算の使用法」「地域協議会の役割の強化策」については、分科会で検討していく。

「カネボウ跡地旧食堂棟等の整備活用」については、専門委員会により検討していく。

「ファーストビルの活用法」については、商工会を中心に検討していく。

(事務局) 旧食堂棟の整備活用について専門委員会により検討する前段階だが、旧カネボウにあったオート三輪を整備する組織作りを始めている。長野計器を中心に丸窓電車を復元された社員の皆さん、信大の先生、車両に感心のある方等、いろんな分野の方が自分はこのことができるかもしれないと集まってきている。自動車屋に修理を発注するのではなく、地域の中の産業核で再生を試みたらどうかという提案がある。それを具体的にするために、カネボウ旧食堂棟を使いその場所でオーバホールして再生する、そういう取り組みをスタートさせていきたい。げんきまるこ産業フェスタに間に合うようにやっていきたいがどうか。

(委員) いいじゃないですか。

(委員) それでいいと思うが、産業フェスタ、木曾義仲武者行列にしても、周知徹底されないまま、一部の人間だけでやられている。そういうことがないように広報等ですべての人に募集をかけてやっていただきたい。

(事務局) 木曾義仲武者行列については今、実行委員会設立準備会の準備が始まっている。市民総がかりでやっていく大きな事業になるのでないかと思うので、お知らせし参加していただくようにやっていく。先ほどのオート三輪については、核になってくれる皆さんが、どういう行程でどういうお金をかけたらいいか模索している準備段階で、今後参加を呼びかけていくことになる。

資料：丸子地域協議会の課題・反省点

5 その他

- ・今後の日程について

・次回第2回丸子地域協議会の予定

5月22日(金曜日)午後1時30分開会。

6 閉会